

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記
令和2年度病害虫発生予報第10号(1月)

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085
内線 471
ファックス 0561-63-7820

令和2年度病害虫発生予報第10号(1月)

令和2年12月25日
愛知県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
トマト (施設)	疫病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	葉かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間はほぼ平年並	± ±
ナス (施設)	灰色かび病	やや多い	県全域	12月下旬の発生量はやや多い 1月の日照時間はほぼ平年並	+ ±
	ミナミキイロ アザミウマ	少ない	県全域	12月下旬の発生量は少ない	-
	ハダニ類	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない 1月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	うどんこ病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キュウリ (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並 1月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	県全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや少ない	県全域	12月下旬の発生量はやや少ない 1月の日照時間はほぼ平年並	- ±
	うどんこ病	平年並	県全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	少ない	県全域	12月下旬の発生量は少ない	-

・防除対策

〔ナス・灰色かび病〕

余分なかん水を避けるなど湿度を必要以上に上げないようにしましょう。発病が見られるほ場では、発病果や発病葉は速やかに取り除き、アフエットフロアブルやピクシオDFなどで防除しましょう。

〔キュウリ・ミナミキイロアザミウマ〕

アフーム乳剤やディアナSCなどで防除しましょう。本種はキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス(MYSV)を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

・留意事項

トマトでは、12月上旬の巡回調査でコナジラミ類の発生量が過去10年で最も多く、発生ほ場率は2番目に多い状況でした。多発ほ場も確認されています。タバココナジラミはトマト黄化葉巻病の病原ウイルス(TYLCV)を媒介します。防除を徹底し、発病株は伝染源となるので見つけ次第抜き取り、適切に処分しましょう。また、コナジラミ類はトマト黄化病の病原ウイルス(ToCV)を媒介するので、防除を徹底しましょう。すすかび病の発生量が多いほ場があります。多湿条件下で多発するので、湿度管理を適切に行いましょう。農薬は葉裏にもかかるよう、丁寧に散布しましょう。

イチゴのハダニ類の発生量は全体的に少ないですが、多発しているほ場もあります。春先、気温が高くなると多発しやすくなります。多発すると防除が難しくなるので、ハダニ類を見つけた場合は早めに防除しましょう。訪花昆虫や天敵を導入している、あるいは今後導入を予定しているほ場では、それらへの影響も考えて農薬を選定してください。

作物

・留意事項

厳寒期(1~2月)に冬期耕うんをすることによって、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の越冬量を減らすことができます。名古屋地方気象台12月24日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は低いと予想されており、冬期耕うんに適した気温となります。スクミリンゴガイが発生しているほ場では、越冬量を減らすために冬期耕うんを行いましょう。詳細は、11月17日発表の「水稻の秋冬期管理情報第1号(イネ白葉枯病、イネ縞葉枯病、スクミリンゴガイ)」を参照してください。また、農林水産省がマニュアル等(アドレス:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryu2/sukumi/sukumi.html>)を公開していますので、参考にしてください。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」(アドレス:<http://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>)を参照してください。

参考

東海地方 1 か月予報（名古屋地方气象台12月24日発表）

〈特に注意を要する事項〉

期間の前半は気温がかなり低くなり、岐阜県山間部の降雪量はかなり多くなる可能性があります。

〈予想される向こう1か月の天候〉

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、低い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、低い確率70%です。3～4週目は、低い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 60% 平年並 : 30% 高い : 10%

〔降水量〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%